

滋賀県首長9条の会発足



憲法9条を生かし、戦争を起こさない外交の力を

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

憲法9条を守ろう

ロシアのウクライナ侵略が始まって2カ月あまりがたちました。多くの命が損なわれる事態に、いてもたってもいられない、怒りと憤りを募らせている方がたくさんいらつしやると思いま

米国のバイデン大統領は、「民主主義対専制主義のたたかい」というスローガンを打ち出しています。しかし、みなさん。いま大事なことは、あれこれの「価値観」で世界を二分するのではなくて、「ロシアは侵略をやめる」「国連憲章を守れ」この一点で、全世界が団結することではないでしょうか。国際世論の力で包囲し、国連憲章にもとづく平和の国際秩序を回復するため、世界と連帯して力をつくそうではありませんか。

直面する最大の危機は

日本が直面している最大の現実の危険は米軍と一体に海外に攻め込むことです。いま危機に乗じて、「日本を守るためには力が必要だ」と言って、「敵基地攻撃」だ、「核共有」だ、「9条を捨てる」こういう大合唱が起こっています。いま日本が直面している最大の現実の危険はどこにあるのでしょうか。ズバリ言いますと、日本が攻撃されていないのに、米軍が軍事行動を始めたら、安保法制Ⅱ集団的自衛権を発動して、自衛隊が

5月3日憲法記念日に滋賀県首長九条の会（写真参照）が結成されました。思想信条の違いをのり越え憲法9条を守ろうとする現首長や元首長19人で構成されています。呼びかけ人は元知事の武村正義さんや嘉田由紀子さんです。また共同代表として平尾米原市長、橋本元びわ町長、村西元米原町長が参加されています。今後の活動が期待されます。今回は志位共産党委員長の憲法集会での憲法やロシア侵略問題の訴えです。

米軍と一緒に「敵基地攻撃」で攻め込む。その結果、その戦火が日本に及んでくる。これが、いま日本が直面している最大の現実の危険ではないでしょうか。

大軍拡 大増税 福祉削減の道

自民党は、軍事費をGDP（国内総生産）比で2%以上、5年以内にやるという。2倍にするというんです。11兆円もの軍事費の財源をどうするんですか。私

たちが「社会保障を良くしよう」と言いますと、いつも「財源どうするのか」とうるさく言うてる自民党が、財源のことを言わないじゃないですか。消費税の大増税か、社会保障の大幅削減になる。火を見るよりも明らかではないでしょうか。みなさん。危機に乗じて、憲法9条を改定し、日本を「軍事対軍事」の危険な道に引き込み、国民の暮らしをおしつぶす、こんな道はみんな力であわせて止めようではありませんか。

自民党は「9条で平和を守れるか」、こう言います。しかし、みなさん。戦争を起こさないための9条を生かした外交に、知恵と力をつくすのが政治の役割ではないでしょうか。

自民党などは「9条で平和を守れるか」、こう言います。しかし、みなさん。戦争を起こさないための9条を生かした外交に、知恵と力をつくすのが政治の役割ではないでしょうか。



私たちが日本共産党は、9条を生かして東アジアに平和をつくりだす「外交ビジョン」を提案しています。私たちが注目しているのは、東南アジア諸国連合（ASEAN）の国々です。徹底した対話によって「紛争を戦争にしない」平和の共同体をつくっていき

ます。そのASEANがいま力を注いでいるのが、東アジアサミット（ASEAN 10カ国プラス日米中など8カ国でつくる平和の枠組みを強化して、ゆくゆくは東アジア規模の友好協定条約を展望しようという大構想を示しています。日本がやるべきは、「敵基地攻撃」なんていう物騒な話じゃない。しっかり連携をして、9条を生かして東アジアを戦争の心配のない平和な地域にする。これこそがやるべき仕事ではないでしょうか。

雑感

自民党古賀元幹事長の言葉が重い。「感覚で戦争を体験している人たちがいない今、とつても怖いと僕は言っている」と。太平洋戦争で父親を亡くした古賀氏。「力で平和を実現する」という議論は、戦争を体験していない世代が理屈で考えた議論だ。「戦争だけはね理屈で収まるものじゃない。どれだけ尊い命が失われたり、財産をなくしたり、血を流したりと、その犠牲の上にあるんです」「周辺国に力を振りかざすより、憲法9条の理想を追及すべきです」と。